

クロスチェック実施要領

1.試験番号 RADI2015-01

2.試験名 調製固体試料（ゼオライト）の放射能濃度

3.試験項目及び濃度範囲

試験にあたっては、下記の濃度を参考にしてください。

試験項目	濃度範囲	備考
^{134}Cs 、 ^{137}Cs	10～200 Bq/kg	250mL ポリビン 2本

4.試料の調製法

飛灰溶出液を濾過後、ゼオライトに吸着させ乾燥したもの。

5.試料の配布

Cs-134 及び Cs-137 を含む試料 2 濃度

宅配便で送付します。

6.試料の保存

放射線量は低いため、特別な管理をする必要はありません。

7.分析方法

試料は、250mL ポリビンで送付しますので、各自測定容器に詰め測定してください。

測定は、ゲルマニウム半導体検出器、または NaI シンチレーションスペクトルメータをもちいて、 ^{134}Cs 、 ^{137}Cs それぞれの放射能濃度または合計 ($^{134}\text{Cs}+^{137}\text{Cs}$) の放射能濃度を Bq/kg-dry として測定してください。

試験方法は、ゲルマニウム半導体検出器については、文部科学省の放射能測定シリーズ7 「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」平成4年改訂、NaI シンチレーションスペクトルメータについては、文部科学省の放射能測定法シリーズ6 「NaI(Tl)シンチレーションスペクトルメータ機器分析法」昭和49年に準拠とする。

これ以外の分析方法を用いた場合は、分析方法を記載してください。

8.結果の報告

測定結果は、記載要領に従い測定結果シートへ入力してください。

9.報告期限

平成27年10月23日(金)まで（厳守してください）

報告は、メールで事務局へ送付してください。

10.その他

結果の概要については、学会等において発表させていただくことがありますのでご了承ください。その場合、各機関が特定されないよう配慮します。